

フリーポールフェンス

LIXIL (ハイスクリーンフェンスA型・B型・C型・D型) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的にした防護柵や、歩行補助を目的にした手すりとしては使用しないでください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 主柱はフェンス本体の端部およびジョイント部から200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
- 柱の内部にモルタルを詰めないでください。
- 柱の発泡材や柱補強材を外さないでください。
- コーナ一部には風が集中するため、必ず主柱を2本施工してください。
- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。たまった水の凍結や柱の腐食で、柱が破損するおそれがあります。

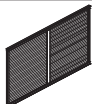
<基礎工事について>

⚠ 注意

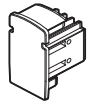
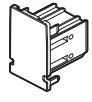
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

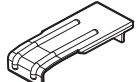
【1】フェンス

名 称	略 図	員 数
フェンス本体		1

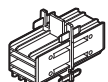
【2】端部キャップ

名 称	略 図	員 数
上栈端部キャップ		2
下栈端部キャップ		2
注意シール		1
【1-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		8
取付説明書(C302)	—	1
取扱説明書(UC007)	—	1

【3】主柱セット

名 称	略 図	員 数		
		T-12	T-14	T-16
主柱		1	1	1
上ブラケット		1		
【3-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		1		

【4】継手セット

名 称	略 図	員 数
上栈ストレートジョイント		1
下栈ストレートジョイント		1
【4-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		8

1. 基本寸法図

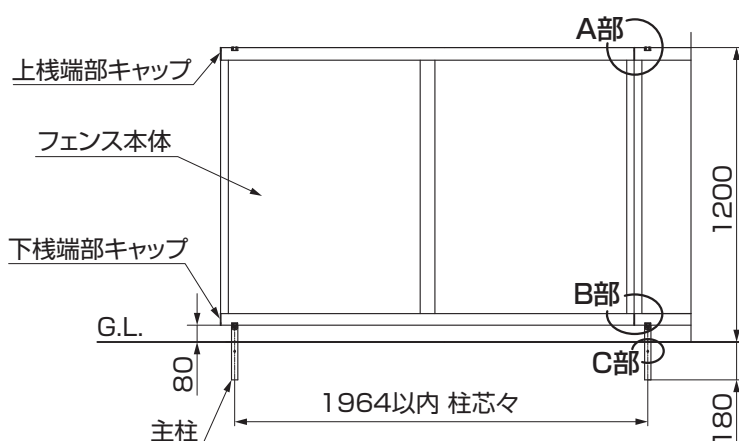


図1-1 T-12の施工基本図

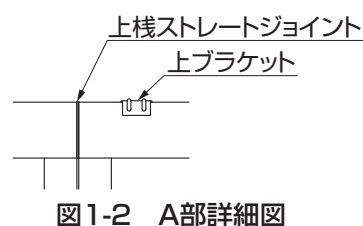


図1-2 A部詳細図

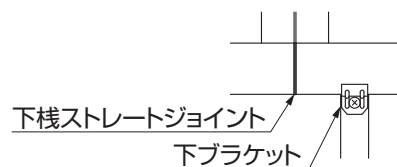
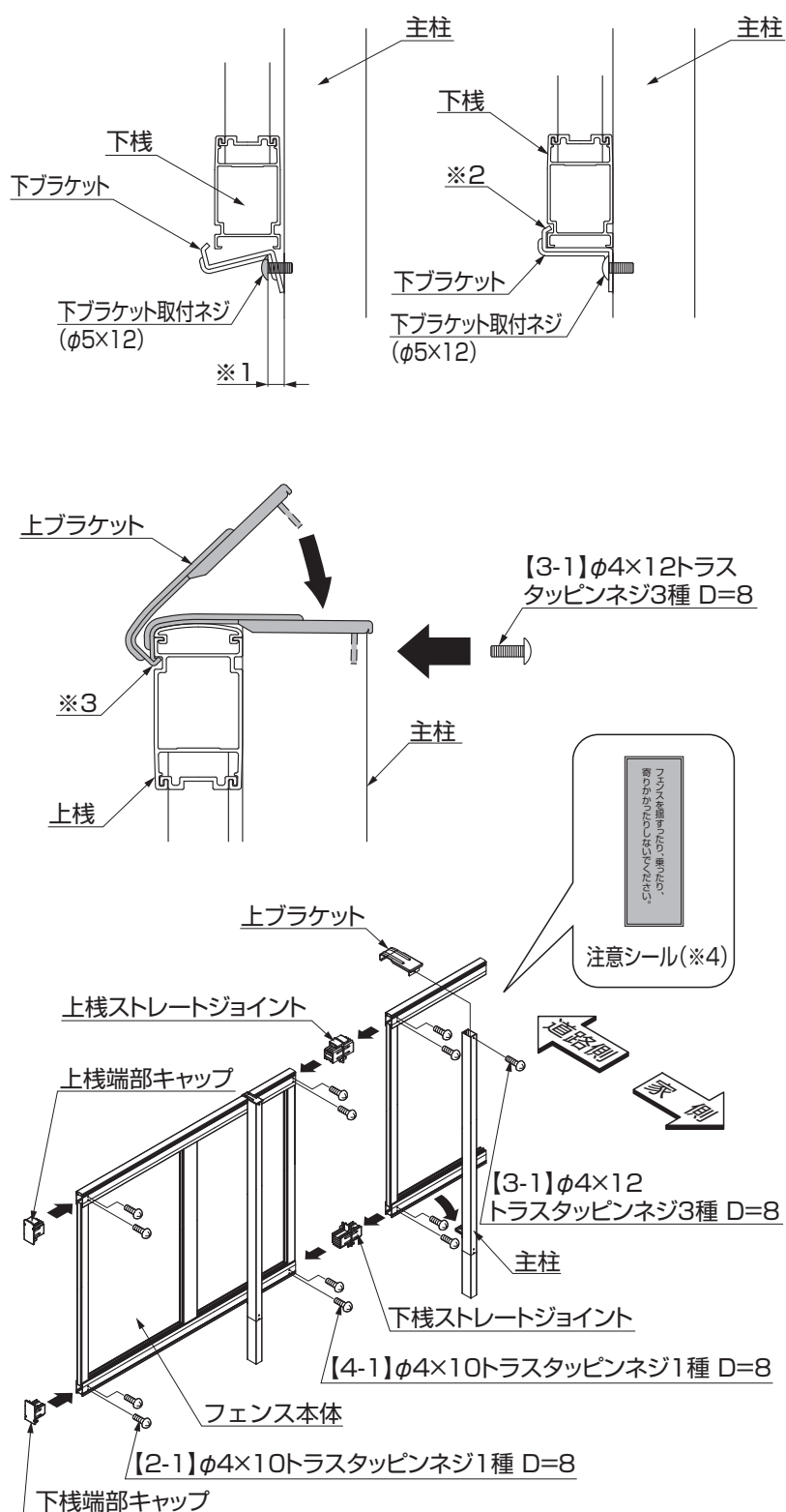


図1-3 B部詳細図



図1-4 C部詳細図

2. 本体の取付け



①下ブラケット取付けネジを7mm程度緩めてください。(※1)

②フェンス本体を下ブラケットに載せてください。

⚠ 注意

●風が強い日などは施工中フェンス本体が倒れるおそれがあるため、2人で作業をするか、フェンス本体上ブラケットを仮固定して作業を進めてください。

③緩めた下ブラケット取付けネジで下柵をしっかり固定してください。

🔑 ポイント

●下ブラケット取付けネジはしっかり固定しないと耐風圧強度が低下します。

④下柵の溝に下ブラケットの先端がはまっていることを確認してください。(※2)

⑤上ブラケットの先端を上柵の溝に引っかけて(※3)、[3-1]で主柱にしっかりと固定してください。

⑥フェンス本体端部側に、上柵端部キャップと下柵端部キャップを挿入して、[2-1]で固定してください。

⑦フェンス本体ジョイント側に、上柵ストレートジョイントと下柵ストレートジョイントを挿入して、[4-1]で固定してください。

⑧フェンス本体の連結は、①～⑤を繰り返しながら上柵ストレートジョイントと下柵ストレートジョイントを使って、[4-1]で取付けてください。

⑨必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。(※4)

⚠ 注意

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード

C302

QBR576844D
200308A_1006
201607E_1049